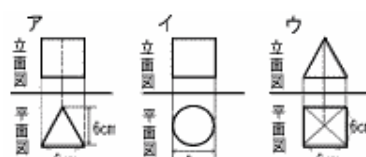
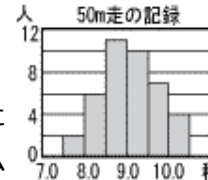
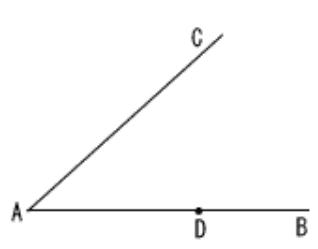


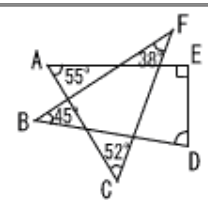
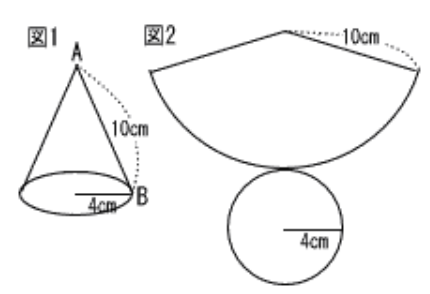
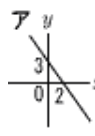
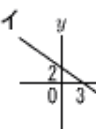
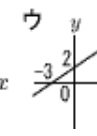
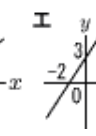


印刷して、紙の上でやってネ!

【 A 】

1	(1) 😊 $2 - (-5) - 9$	6	<p>次の図は、高さがすべて等しい立体の投影図である。次の投影図で表されたア～ウの立体を、体積の小さいものから順に並べ、その記号を書け。</p> 
	(2) $\frac{3x-y}{4} - \frac{x+2y}{3}$		
	(3) $a^2b \times (-3b) \div 6ab^2$		
	(4) $\frac{12}{\sqrt{2}} - \sqrt{32}$		
2	<p>50本の鉛筆を、7人の生徒に1人 a 本ずつ配ると、b 本余った。このとき、b を a の式で表せ。</p>	7	<p>右のグラフはある中学校の3年生女子40人について、50m走の記録をヒストグラムで表したものである。このヒストグラムでは、例えば、50m走の記録が8.0秒以上8.5秒未満の女子が6人いることがわかる。</p> <p>このヒストグラムにおいて、中央値を含む階級の相対度数を求めよ。</p> 
3	<p>a は正の数とする。次の文字式のうち、式の値が a の値よりも小さくなる文字式はどれか。次のア～エからすべて選び、その記号を書け。</p> <p>ア $a + (-\frac{1}{2})$ イ $a - (-\frac{1}{2})$ ウ $a \times (-\frac{1}{2})$</p> <p>エ $a \div (-\frac{1}{2})$</p>	8	<p>🧐 下の図のように、2つの半直線 AB, AC があり、半直線 AB 上に点 D をとる。2つの半直線 AB, AC の両方に接する円のうち、点 D で半直線 AB と接する円の中心 P を、定規とコンパスを使い、作図によって求めよ。ただし、定規は直線をひくときに使い、長さを測ったり角度を利用したりしないこととする。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。</p> 
4	<p>2次方程式 $(x-4)(x+2) = 3x-2$ を解け。</p>		
5	<p>関数 $y = ax^2$ について、x の変域が $-2 \leq x \leq -1$ のとき、y の変域は $3 \leq y \leq 12$ である。このときの a の値を求めよ。</p>		

【 B 】

1	<p>(1) 😊 $-4 - (-3) + 6$</p> <p>(2) 😊 $3^2 - 6 \div (-2)$</p> <p>(3) $-5b^2 \div 10ab \times 4a$</p> <p>(4) $15 \div \sqrt{5} + \sqrt{20}$</p>	<p>5 右の図で、$\angle A = 55^\circ, \angle B = 45^\circ, \angle C = 52^\circ, \angle E = 90^\circ, \angle F = 38^\circ$である。このとき、$\angle D$の大きさは何度か。</p> 
2	<p>$a\%$の食塩水600gの中に溶けている食塩の量をbgとする。このとき、bをaの式で表せ。</p>	<p>2番問題 ~ おまけ ~</p> <p>次の図1は、底面の半径が4cm、母線ABの長さが10cmの円すいであり、図2は、図1の円すいの展開図である。ただし、円周率はπを用いること。</p> 
3	<p>方程式$\frac{x}{2} + \frac{y}{3} = 1$のグラフを、次のア~エから1つ選び、その記号を書け。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ウ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>エ</p>  </div> </div>	<p>1 図2において、おうぎ形の中心角の大きさは何度か。</p>
4	<p>関数$y = -2x^2$において、xの値とそれに対応するyの値について述べた文として正しいものを、次のア~エから1つ選び、その記号を書け。ただし、xは0でないものとする。</p> <p>ア xの値を2倍、3倍、4倍にすると、対応するyの値はそれぞれ2倍、3倍、4倍となる。</p> <p>イ xの値を2倍、3倍、4倍にすると、対応するyの値はそれぞれ-2倍、-3倍、-4倍となる。</p> <p>ウ xの値を2倍、3倍、4倍にすると、対応するyの値はそれぞれ4倍、9倍、16倍となる。</p> <p>エ xの値を2倍、3倍、4倍にすると、対応するyの値はそれぞれ-4倍、-9倍、-16倍となる。</p>	<p>2 図3のように、図1の円すいを底面に平行な平面で切断したときの母線ABとの交点をCとする。ACを母線とする円すいの側面積が、ABを母線とする円すいの側面積の半分となるときの、ACの長さを求めよ。</p> 